



■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度

国際ロータリー会長 / ゴードン R. マッキナリー
2690地区ガバナー / 石倉 貞昭

会長 / 清原 正幸 副会長 / 來間 久
幹事 / 松浦 剛司 会計 / 小汀 泰之

■例会プログラム

| 例会日 | 卓話者 | 演題 |
|---------------|---|--|
| 11月16日 | 出雲税務署 署長 藪本義人様 | |
| 11月23日 | 休会(祝日) | |
| 11月24日 (金) | 認定 NPO 法人 ヒカリナタ基金 理事長 竹内昌彦 様 | 地区補助金事業 講演会 |
| 12月7日 | いずも縁結び温泉 ゆり 18:30 ~ | 忘年例会 |
| 12月14日 | 次年度幹事 原 伸雄 | 次期クラブ R 財団委員長研 修会・地区補助金管理 セミナー報告 |
| 12月21日 | 出雲市立総合医療センター リハビリテーション技術科 科長 安食克志 様 | 生活習慣病予防の 運動療法 |

■出席報告

| 会員数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席率 |
|-----|------|-------|-------|
| 38 | 27 | 11(2) | 75.00 |

■欠席者

石原/加藤/松浦/大島淳/大谷良/園/園山/杉原/飯塚詔
(黒田/牧野)

■来訪者

なし

■メイクアップ

なし

■次回例会受付当番

(12月7日) 多久和優美/釜屋治男/加藤 昇

(12月14日) 大谷厚郎/來間 久/榎野良文

■近隣クラブ例会情報(メイクアップを考えましょう)

| 月 | 出雲中央 11/20・27 12/18 11/13・12/25(-) | 松江南 11/20 12/18・25 |
|---|---------------------------------------|----------------------------------|
| 火 | 出雲 12/12 10/31・11/21・12/26(-) | 松江しんじ湖 11/21 12/5・19・26 |
| 水 | 大社 12/13 11/22・29・12/27(-) | 松江 11/22・29(-) 12/20 12/27(-) |
| 木 | (-); ビジター受付なし | 松江東 12/21 12/28(-) |
| 金 | 出雲南 2/22 12/29(-) | |

■会長挨拶

先週は年次総会でした。来年度の我々のリーダーが決定しました。來間会長エレクトには存分にリーダーシップを発揮していただき我々を引っ張っていただきたいと思います。来年はIMが平田で開催されます。成功に導かれるよう期待しています。

また、來間次年度を支える原次年度幹事、遠藤次年度 SAA、何かと忙しいと思いますが宜しくお願いいたします。そして理事、役員の皆様、指名にあたり快くお引き受けいただき感謝いたします。

本年度の私の重要な仕事の一つに後任をしっかりと決めることでもありますので、順調に決定し安心しております。

本日は「傾聴姿勢」についてお話をします。

良好な人間関係を築くには、相手の話に耳を傾けることが大切です。そうと分かっても、相手が望むほどしっかり聞いていない場合もあるかもしれません。私も経験があるのですが、たとえば家族の話や新聞やテレビ、最近ならスマホをいじりながら聞くことが多く、受け答えも生返事をするがありました。皆さんも心当たりがあるじゃないでしょうか？

話を「きく」の漢字は「聞く」と「聴く」があり、「聞く」は自然に耳に入ってくることを指し、「聴く」は積極的に耳を傾けることを意味します。このように「聴く」姿勢にあらため、しっかり相手の目をみて相槌を打ったりすると相手は決して悪い気分にはなりません。より良好な人間関係が構築できると思います。

ビジネスも家庭も同じだと思います。妻や子供の話もしっかりと聴けば、家族も積極的に話しかけてくれます。そうすることによって家庭の中が明るくなります。ひいては明日の仕事の活力にもなります。どうか皆さんも心がけてみてください。本日の講師先生は出雲税務署所長藪本さんのお話です。

しっかりと聴いてください。

来週24日は地区補助金事業、竹内昌彦先生の講演会です。一人でも多くの人をお誘いいただきますようお願い申し上げます。本日も宜しくお願いいたします。

■幹事報告

1. 2690 地区 2024-25 年度地区ガバナーノミニー選出について
2024-25 年度地区ガバナーノミニー選出のための指名委員会委員(委員長 友末誠夫直前ガバナー)が決定。(R 細則に従って)石倉貞昭ガバナーより、2024-25 年度 地区ガバナーノミニー候補推薦依頼がありました。

当クラブより立候補、推薦がなければ信任状を提出致します。

2. シンガポール国際大会について

2024. 5/26~5/29

登録ご希望の方お申し出ください。

■委員会報告

情報・雑誌委員会 : ローターの友 11 月号の紹介

50 周年実行委員会(総務) : 先週末ご案内状の送付を終えました

■スマイル

清原 (出雲税務署 署長 藪本様、総務課長 崎間様お忙しい中お越し頂きありがとうございました。本日はよろしくお願致します。先週の年次総会で次年度の会長、幹事、SAA、理事、役員が決まりました。リーダーシップを発揮して我々を引っ張って下さい。)

大谷厚 (藪本署長様、法人会ではいつもお世話になっております。本日はよろしくお願致します。)

小汀 (出雲税務署長藪本様、総務課長崎間様、今日はよろしくお出かけください。お話し楽しみにしています。)

田中 (藪本署長、崎間総務課長、平田ロータリークラブようこそおいでいただきました。本日はよろしくお願いたします。本日の年次総会、宜しくお願い致します。)

原伸 (藪本署長様、崎間課長様、本日はありがとうございます。スピーチよろしくお願いたします。)

佐々木 (50周年記念式典まであと3ヶ月あまり、総務部会が担当する招待者あての案内状印刷・作成を先週9日に終え、送付しました。年末までに欠の回答をいただくスケジュールです。)

飯塚大 (一畑薬師茶会についてご案内させていただきます。森山宗匠の三斎流さまにお席を出して頂きます。)

高砂 (林支店長お疲れ様でした。神戸での活躍お祈りします。)

林 (この度12/1付の異動で神戸支店副支店長を拝命し、転勤することになり、大会させていただきますことになりました。昨年8月に入会させていただきましたが、皆様方には本当に世話になりました。これから、忘年会、50周年記念式典とおおきな行事が続く中、非常に申し訳なく思っておりますが盛会となりますこと、そして今後も平田ロータリークラブが発展、会員の皆様のご健勝を心からお祈りしています。)

例会プログラム

税務行政のDX

出雲税務署長 藪本 義人 様



税務行政のDX

令和5年11月16日(木)
出雲税務署長 藪本 義人

税務行政のデジタル・トランスフォーメーション—税務行政の将来像 2023—

- ◆ 税務手続のデジタル化や業務におけるデータの活用など、税務行政のデジタル・トランスフォーメーション(デジタル化した)国税に関する手続や業務の在り方の抜本的な見直し)に取り組みます。
- ◆ 事業者の業務のデジタル化を促進することにより、税務を起点とした社会全体のDXを推進します。
- ◎ 国税庁は、「適正・公平な課税・徴収の実現」に加え「社会全体のDX推進」の観点からも社会に貢献していきます。

納税者の利便性の向上
「納税者目線」の徹底

- 申告(納付・還付)、年末調整の簡便化
- 情報等の開示/自己情報のオンライン確認
- 検索性向上/相談の高度化

課税・徴収業務の効率化・高度化
「データの活用」の徹底

- 課税・徴収の効率化・高度化(AI・データ分析の活用)
- オンラインツール等の活用
- 関係機関への連携等のデジタル化
- 税務データの活用目的の活用(例: 税務・徴収・課税・課税)

組織としてのパフォーマンスを最大化

- 税務行政のデジタル化
- 業務の適正化
- 業務の適正化
- 業務の適正化
- 業務の適正化

「適正・公平な課税・徴収の実現」に加え「社会全体のDX推進」の観点からも社会に貢献

※ 納税者情報の取扱いや情報セキュリティの確保にも万全を期す。
※ デジタルに不慣れな方も含めたあらゆる納税者に対して効率的で使い勝手の良いサービスを提供することを目指す。
※ 将来像実現に向けて、「内部事務のセンター化」やシステムの高度化、人材育成等のインフラ整備にも取り組む。

税務を起点とした社会全体のDXの推進(イメージ)

- ◆ 税務手続のデジタル化だけでなく、事業者の業務のデジタル化を併せて促進することにより、経済取引のデジタル化につながっていきます。これにより、事業者が日頃行う事務処理の一貫したデジタル処理が可能となり、生産性の向上等といった効果も期待されます。
- ◆ 他の事業者のデジタル化も促され、「デジタル化の推進が更なるデジタル化につながる好循環」が生まれ出ることが通じて、社会全体のDX推進につながり、社会全体にデジタル化のメリットが波及することが期待されます。

納税者の利便性の向上「納税者目線」の徹底 取組概要

- ◆ 普段は税になじみのない方も、日常使い慣れたデジタルツール(スマートフォン、タブレット、パソコンなど)から簡単・便利に手続を行うことができる環境構築を目指すなど、これまで以上に「納税者目線」を大切に、各種施策を講じます。
- ◆ そのためのアプローチとして、実際に納税者が「申告書や手続を調べ、相談し、申告・納付する」といった一連の流れ全体を俯瞰し、最適なUI/UXの改善を図っていくため、想定される典型的な納税者像(ペルソナ)を設定し、当該ペルソナが税務手続を行う際のカスタマージャーニーを具体化することで現状の問題点を可視化し、改善策を検討していきます。
- ◆ 具体的な施策としては、以下のとおり、「日本版記入済み申告書」(書かない確定申告)の実現に向けた自動入力項目の拡大等の申告や申請等手続の簡便化、検索や相談のデジタルを活用した高度化等に取り組んでいます。

申告(納付・還付)、年末調整の簡便化

- ▶ 給与情報等の自動入力(申告手続の簡便化)
- 申告に必要なデータを自動的に取り込むことで、数回のクリック・タップで申告が完了する仕組み(「日本版記入済み申告書」)の実現
- ▶ e-TaxのUI/UX改善
- 各課・課ソフトの統合による連絡の整理
- ▶ キャッシュレス納付の推進、公金受取口座を利用した還付
- ▶ 年末調整手続の簡便化

申請等の簡便化/自己情報のオンライン確認

- ▶ e-Taxの「マイページ」の充実
- ▶ 納税証明書のオンライン取得
- ▶ 納税情報の添付自動化

相談窓口の充実/相談の高度化

- ▶ オンライン相談の充実
- ▶ チャットボットの充実、ホームページの検索性向上
- ▶ 電話相談の高度化・利便性向上
- ▶ 国税相談専用ダイヤルの導入
- ▶ SNS(国税庁公式LINE)を利用した情報の配信

国税庁の取組

国税の多くは、納税者が自ら所得金額や税額を計算し、それに基づいて申告し、納税するという申告納税制度を採用(地方税の多くは賦課課税方式)

「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」

国税庁の任務

国税庁は、

- ① 内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現
- ② 酒類業の健全な発達
- ③ 税理士業務の適正な運営の確保を図ることを任務とする。

AI・データ分析の活用

AIも活用しながら幅広いデータを分析することにより、申告漏れの可能性が高い納税者の判定や、滞納者の状況に応じた対応の判別を行うなど、課税・徴収の効率化・高度化に取り組んでいます。

申告漏れの可能性が高い納税者の判定

申告漏れの可能性が高い納税者を判定し、その分析結果を活用することで、効率的な課税・行政運営を実現し、課税・徴収の高度化に貢献しています。

滞納者への最適な接触方法等の予測

AIツール・プログラミング言語を用いて、滞納者の各種情報(過去の滞納履歴、申告書データ、履歴等)を基に、滞納者ごとに接触できる可能性の高い方法(電話連絡、郵便物、文書送付)を予測し、効果的な接触を実現します。

滞納者への最適な接触方法等の予測

AIツール・プログラミング言語を用いて、滞納者の各種情報(過去の滞納履歴、申告書データ、履歴等)を基に、滞納者ごとに接触できる可能性の高い方法(電話連絡、郵便物、文書送付)を予測し、効果的な接触を実現します。

滞納者への最適な接触方法等の予測

AIツール・プログラミング言語を用いて、滞納者の各種情報(過去の滞納履歴、申告書データ、履歴等)を基に、滞納者ごとに接触できる可能性の高い方法(電話連絡、郵便物、文書送付)を予測し、効果的な接触を実現します。